
書物文化論 第9回 ～新聞学の視点から①

2008/06/13

新聞学科教授

鈴木雄雅

書物・資料の解釈と鑑賞

- ジャーナリズム：情報収集が基礎
- Media, Culture and Society
- テキストを読むとは：
Media is message: McLuhan
- メディアの機能論：H. ラスウェル
 - 環境の査察－環境の監視（情報伝達、報道）
 - 構成員の相互作用：（**解釈と評価**、政策決定、統制）
 - 社会的遺産の伝達（社会化、教育）

映像資料の解釈と鑑賞：映画を読む

- コミュニケーション・メディアの理解
映像資料の解釈と鑑賞
「2001年宇宙の旅 2001: A Space Odyssey」(脚本 A.C.クラーク 監督 S.キューブリック 1968年)
- 鈴木雄雅 「マルチメディア・フィーバーから考えること」 『ソフィア』no.174(1995)
- 巽 孝之『「2001年宇宙の旅」』講義(平凡社新書、2001年)

マス・メディアの機能: ラザースフェルド/マートン

- 地位付与の機能 (status conferral function)
- 社会的強制の機能 (enforcement of social norms)
- 麻酔的逆機能 [narcotizing dysfunction]
- 娯乐的機能(緊張、緩和、遊び、統合)
 - * 顕在的機能
- 広告機能

情報とは言うけれど

- *Data*: (ある目的に沿った)数の単純集計
- *Information*: 情報(知識、学識=*knowledge*)
- *Investigative(reporting)*: 調査報道
 - *FBI*: 米連邦捜査局 *Federal Bureau of Investigation*
- *Intelligence*: 洞察
 - *CIA*: 米中央情報局 *Central Intelligence Agency*
- *information* を分析、評価
- *Infotainment*: *information + entertainment*
- *Docutainment*: *documentary + entertainment*

文字出現以前のコミュニケーション

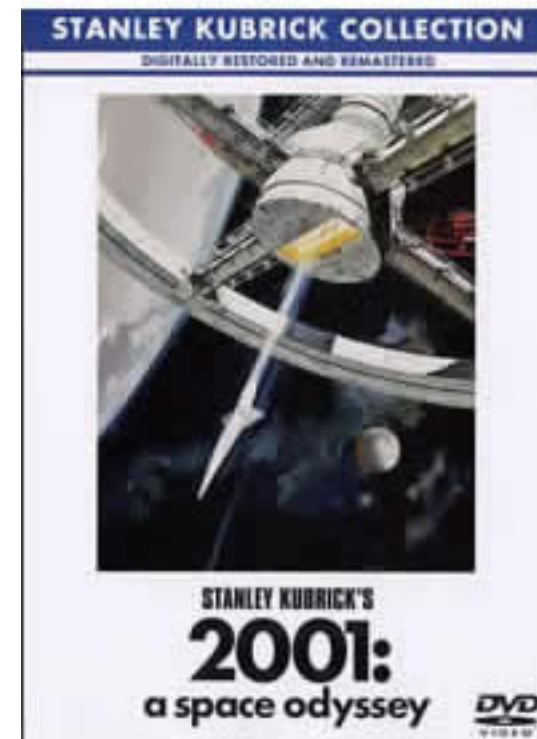
- 人類の出現＝human communicationの発達：
homo alarus＝言葉をもたぬ人
 - 身振り(gesture): 人間と動物の違い
 - 意味の記号と感情の表出
 - (1) ことばと手: 直立姿勢＋手(hand)→道具
 - (2) 絵画: ラスコー、アルタミラ(2.5～4万年前)
- 2,000万年前 200万年前 150～200万年前 数万年前
- ←←サルからヒトへ→ ←ホモエレクトス→



書物文化論(鈴木雄雅)

近代以前のコミュニケーションの成立過程 を考察する

- ゲーテンベルク以前
- 2001: A SPACE ODYSSEY (1968)
- A.C.クラーク、S.キューブリック



2001年宇宙の旅



2001: A SPACE ODYSSEY

HALL: Well, I don't think there is a question about it. It can only be attribute to **human error**. This sort of thing has cropped up before, and it has always been due to **human error**.

- ❑ 疑問の余地はありません。人間のミス以外に考えられません。こうしたことは、前例もあり、ミスを犯すのはこれまで常に人間のほうでした。